

正負の数の加法(たし算), 減法(ひき算) ⇨ +チームと-チームの人数くらべ

符号が異なる場合

(+) 対 (-)

① 答えの符号は ⇨ 人数の多いほうの符号

② 答えの数は ⇨ 人数の差(何人多いか)

人数が同じときは同点で答えは0になる!

符号が同じ場合

(+) (+)
(-) (-)

① 答えの符号は ⇨ 同じチームの符号

② 答えの数は ⇨ 合計の人数

例題1

$$2 - 7$$

⇨ +チーム 2人
⇨ -チーム 7人

$$= +2 - 7$$

⇨ -チームの勝ち
⇨ 5人多い

$$= -5$$

例題2

$$-3 + 6$$

⇨ +チーム 6人
⇨ -チーム 3人

⇨ +チームの勝ち
⇨ 3人多い

$$= +3$$

例題3

$$-4 - 9$$

⇨ -チーム 4人
⇨ -チーム 9人

⇨ -チームが合計
⇨ 13人

$$= -13$$

例題4

$$-8 + 8$$

⇨ -チーム 8人
⇨ +チーム 8人

⇨ 人数が同じとき
⇨ 0

$$= 0$$

例題5

$$\frac{2}{3} - \frac{3}{4}$$

⇨ 通分

$$= \frac{8}{12} - \frac{9}{12}$$

⇨ 分子で計算
⇨ -チームの勝ち
⇨ 1人多い

$$= -\frac{1}{12}$$

例題6

$$-\frac{4}{5} - \frac{4}{3}$$

⇨ 通分

$$= -\frac{12}{15} - \frac{20}{15}$$

⇨ 分子で計算
⇨ -チームが
⇨ 合計32人

$$= -\frac{32}{15}$$

例題7

$$-5 + 3 - 9 + 2$$

⇨ +チーム合計
⇨ -チーム合計

$$= +5 - 14$$

⇨ -チームの勝ち
⇨ 9人多い

$$= -9$$

例題8

$$-9 + 2 - 5 - 3 + 7$$

$$= +9 - 17$$

$$= -8$$